

たくさんの神様

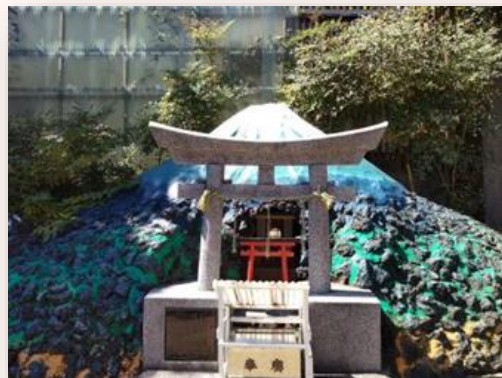


日本では、お正月にたくさんの人が神社に行きます。神社で、1年間の安全や健康をお祈りします。そして、試験の合格や幸運をお願いする人もいます。神奈川県川崎市にある京濱伏見稲荷神社には、たくさんの神様がいます。



この赤い門は、鳥居といいます。神様の世界と人間の世界を分けるためにあり、ここから神様の世界へ入ります。この神社の赤い鳥居は、衣服と食物と住居の神様です。そして、日本人にとって大切なお米の神様でもあります。

このキツネは、神様ではありません。神様の使いとして、お米をネズミから守っています。この神社には、108匹のキツネがいます。



ほかには、木、池、岩、そして、山の神様もいます。

鳥居や木、池などがどうして神様なのでしょう？ 不思議に思う人もいるかもしれません。日本人は昔から、動物や植物だけでなく、畑や滝などの命がないものにも神様がいると考えてきました。それで、地方ごとに季節のお祭りをしたり、岩や山、畑、滝のような自然を敬ったりします。この考え方を神道と言います。神道は、だれが作ったか、わかりません。そして、キリスト教の聖書やイスラム教のコーランのような神様についての本もありません。

日本人に「宗教は何ですか？」と聞くと、すぐに答えが返ってこないかもしれません。そのため、日本人は宗教を持っていないと思われることもあります。しかし、実際には日本にはたくさんの神様がいるのです。それらの神様は自然の中にいるので、キリスト教やイスラム教などの神様とは違います。それで、神道の考え方だと意識していないために、宗教的な神様だと思われていないのです。

宮崎駿という人を知っていますか。世界的に有名なアニメの映画監督です。彼の作品の中に自然を敬う神道の考え方と結びついた作品があります。例えば、「もののけ姫」、「千と千尋の神隠し」、「となりのトトロ」や「風の谷のナウシカ」などです。「スタジオジブリの作品」のサイトで、宮崎駿のアニメ作品の画像を見ることができます。とても面白いアニメがたくさんあるので、ぜひ観てください。

「スタジオジブリの作品」 <https://www.ghibli.jp/works/>

(853 字)

(2021.9 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「神道国際学会」ウェブサイト「神道とは」

http://www.shinto.org/wordjp/?page_id=2

- ・芳賀理彦 (2014) 「アメリカにおける宮崎駿の受容 ― 日本文化と歴史の新しい表象―」『千葉大学比較文化研究』(2). pp.73-102.

https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900117896/hikakubunka_no.2_73_102.pdf

(2021.10.14 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use

this work, please indicate the source as in the example above.